



発行・京都障害者スポーツ振興会

題字 芝田 徳造

シンクロフエスティバルに出場して

ル☆アマミー 幸町ウエルフェア

シンクロチーム

近藤真由美

娘はダウン症で34才になります。初めて出会う人にはよく、「○○で見かけたね、違う？」などと言われますが、なかなかの娘。見かけは似ていても、中身まで似た人に出会ったことはありません。身体が弱く病院ばかり通った幼児期、ストレスをすべて外に向け暴れた学齢期、花の青春はあつという間に終わりの5、6年。手を替え品を替え私に修行はまだまだ続くよと言わんばかりです。

さて、イライラも最高潮の小学1年の時、療育の先生に相談しても病院で相談しても、口をそろえて言われることが、「プールがいいですよ」でした。それならばと、近くのスイミングスクールで体験させてもらいましたが、どこも答えはNO!でした。ベビーカーから入ってないと6才からでは遅すぎると、ずっと目を離さない体制は取れない等が理由でした。それもそのはず、必死に全身の力をこめてコーチにしがみついただけでしたから。ですが、その中の県立プールで、以前聴覚障害の学校に勤務されていた方が親身になって話を聞いてくださり、ある提案をしてくれました。専用コースを借り、ハンデのある子供たちを集め、コーチを派遣するという方法でした。あつという間に15人の子供たちは集まり、何とか1年やっ

てみましようというコーチのグループもみつかり、小学2年から「ひまわりスイミング」はスタートしました。そして1年・・・のはずが、今も続いて、多くの子供たちが泳げるようになりました。

娘も中学1年の時には、水泳大会で金メダルをもらいました。まだ泳げる女の子は少なかった時代です。神戸に住んでいます、ある日新しくできたばかりの舞洲障害者スポーツセンターに遊びに行きました。慣れないボウリングでピンまでボールが届かず、レーンの上を歩いてピョンに近づきボールを転がしたり、レーンで寝転がって滑ったり。指導員の方に「人間モップやなあ」と笑われました。次に慣れたプールに入り、クロールで25m行ってバタフライで帰ってきたのを先ほどの指導員が見られて、ボウリングとの余りの違いに驚き「さっきの子?!」

話がはずむ中で、音楽も好きで、水慣れもしている、ので、一緒にできることはないかなと考えていると、とうとう、土曜日にあるから紹介してあげると言われ、大阪のチームに入れてもらいました。障害者シンク

ロとの出会いです。中学3年でシンクロフエスティバルに初参加、次の年からは、神戸のチームで出場、そして20回を超えました。小中学生で水中ダンスを楽しんだ時期、シンクロのコーチに指導を受けられるようになりメンバーだいでトリオや4人のチームで頑張った時期、そして今は親も入り補助をしながら、できることを頑張るというように、形態を変えながらの20年です。



(裏面へ)

行事予定	6月	12(火)	丹波障害者スポーツのつどい	丹波自然運動公園	来月のつどいは	
		16(土)	京都府障害者スポーツ指導者研修会1-①	同志社大学京田辺キャンパス		
		17(日)	第38回全京都障害者総合スポーツ大会 総合開会式・卓球バレー大会		島津アリーナ京都(京都府立体育館)	7 / 8
			京都府障害者スポーツ指導者研修会1-②		同志社大学京田辺キャンパス	
		24(日)	城陽障害者スポーツのつどい		サン・アビリティーズ城陽	
			京都府障害者スポーツ指導者研修会1-③		同志社大学京田辺キャンパス	
30(土)	与謝野町スポーツのつどい		加悦地域公民館			
京都障害者スポーツ振興会ホームページ http://www.spo-shin.net/ (ホームページが新しくなりました！)					第2日曜日	

TEL/FAX 075-712-7010

京都障害者スポーツ振興会ホームページ

(表面より)



人に見てもらおうのが大好きな娘にとって、本番ほど嬉しい3分間はありませぬ。その上今回4回目のナイスシンクロ賞を頂き、レストランでの祝勝会の楽しみも待っています。修行の合間のご褒美をゆつくり味わいたいと思います。こんな長い年月楽しませていただき、フェスティバルを運営されている方々、いつも丁寧な講評をくださる先生方、当日の多くのボランティアの方々、練習に割り込ませていただいている京都コスモスの方々、本当にありがとうございます。また来年もよろしく願います。

うえのまこ

5月12日と13日に京都行き、シンクロナイズドフェスティバルに参加してきました。

私は、本番が近くなると、緊張して、心臓がバクバクでメンバーの仲間に話しかけられても、話すこともできなくなりそうです。私のチームの今回の曲は、ディズニーマドレーでした。私も、トイストーリーが大好きだったので、嬉しかったです。しかし、私はシンクロの笑顔や手を伸ばすことができなかったのが課題です。でも、楽しく仲間と演技できました！最後の船の形にして終わるところが練習の時から苦戦したけど、結局船の形に見えなくて残念でした。

いつも仙台のプールで練習しています。プールが工事で使えないときは、近くの会議室で練習することもありました。いつも川村先生の振付が練習の度にコロコロ変わってイライラします。でも、友達がたくさんいるし、ボランティアのお姉さんもいるので、たのしく続いています。毎年、土曜日の朝一番の飛行機に乗り、日曜日の最

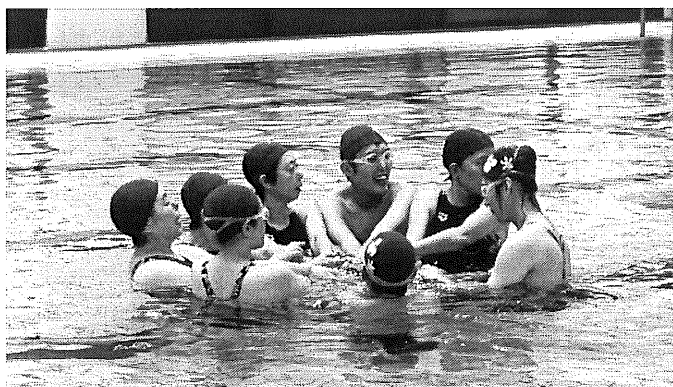


終便に乗って帰ってきました。今年は大雨だったので、演技が終わった後に予定していた道頓堀には行けませんでしたが、土曜日に天気が良かったので、金閣寺に初めて行きました。すごい人や想像よりもピカピカしてて圧倒されました。そこでお守りを買ったり、抹茶アイスを食べながら過ごしました。これから自分の課題に向かって、がんばりつつ、今回できたことは来年もできるように取り組みます。また、来年も京都でいいおもいでをたくさんつくりにいきます。今回はありがとうございました。

上野玲子

娘が所属している幸町ウエルフェアシンクロチームは、1999年から活動を始めた伝統あるチームです。当初のメンバーは49名。2002年宮城国体での7分間の初披露がスタートでした。この障害者シンクロナイズドスイミングフェスティバルには17年前から出場し、東日本大震災の年に一度欠場しましたが、今回で16回目となります。

私たち親子は、15年前から同じプールで親子水泳教室に通っていましたが、娘が中学校の部活動を引退すると同時に、シンクロ教室に入りました。前世が深海魚だった(?)娘は水の中で自由に動き回ることが楽しく、振付けもすぐに覚えています。音楽に合わせて、仲間の動きに合わせることも、仲間の動きに合わせることも、お兄さんやお姉さんがたくさんできて、いつも楽しく練習に参加しています。私は川村先生や先輩ママの皆さんから、シンクロ以外の面でも様々なことを学ばせて頂き、地域にはない、貴重な時間を過ごすことができます。この大会に出場することは、仲間の気持ちを一つに



する絶好の機会となっています。毎年、京都で発表することを励みに、現在ボランティア2名の方々の力を借りて、16名で活動しています。これからも、常に挑戦する気持ちで、楽しみながら続けて行きたいと思っています。最後に、東日本大震災における全国の皆様からのおくさんのご支援に対して、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。